

# 豊明高 日本一の夢つかむ

## 「まんが甲子園」5時間30分の熱闘

### 会心アイデア「全員が楽しめた」

8月7、8日高知県で開かれた「第19回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）本選大会」で、県立豊明高校（豊明市杵掛町）イラストレーション部が最優秀賞を受賞、初めて日本一の栄冠に輝きました。同校の作品は母親の機嫌を予想する姉弟を描いた『あしたの機嫌予報』。審査員から「誰にでもひと目で伝わり、分かりやすい」と高い評価を受けました。出場メンバーは次のみなさんです。内藤由香里さん（3年・杵掛中）、出口明奈さん（同・栄中）、丹羽益美さん（2年・同）、野村真那さん（同・知立中）、田中智之さん（1年・滝ノ水中）（内は学年出身中学）。

### 「あしたの機嫌予報」 280校の頂点に

「結果発表の時、審査員長のやなせたかしさんと声を掛けられたりして、戻り友だちからメールが

「結果発表の時、審査員長のやなせたかしさんと声を掛けられたりして、戻り友だちからメールが届いたり、おめでとう」を感じたのですが、まさきた」と喜びをかみしめか優勝するなんて思いも

### 「来年も」後輩ら意欲

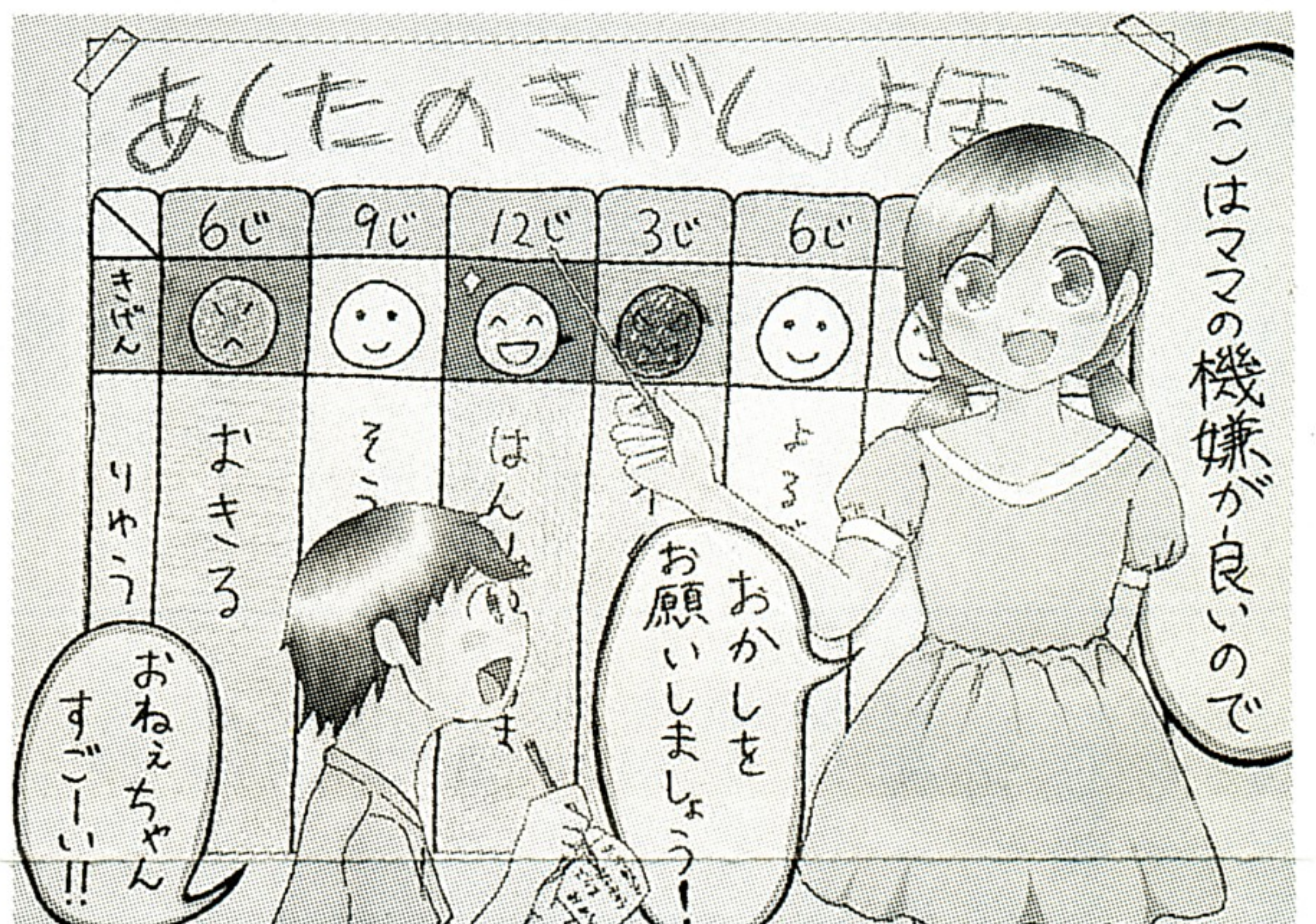
全国から280校の応募があった同大会では、地区予選を通過した30校の中から本選初日の第一競技を突破した15校と敗者復活戦を勝ち上がった5校が2日目の決勝戦へ進出。5時間半以内で、

「あしたの機嫌予報」のテーマ（本選のテーマは「5」マはこの中から選ばれ

意見を出し合い、作品づくりに取り組み豊明高メンバーたち。高知県・まんが甲子園会場

「あしたの機嫌予報」のテーマ（本選のテーマは「5」マはこの中から選ばれ、事前

「まんが甲子園」最優秀賞に輝いた作品



「あしたの機嫌予報」のテーマ（本選のテーマは「5」マはこの中から選ばれ、事前

「あしたの機嫌予報」のテーマ（本選のテーマは「5」マはこの中から選ばれ、事前

れ、急いで画材を買ったりもしたそう

「最後まで全員参加で作り込んだ作品。楽しく取り組